

あ　と　が　き

岐阜県内の市町村史編さん業務は、昭和四十年代にはほとんどの各市町村が着手し、五十年代にはその大半が完成しています。川辺町でも四十年当初に、町政の話題となって計画され、複数の編さん委員が任命されましたが、進捗することなく立ち消えとなった経緯があります。その後再び機運が盛り上がり、昭和五十年に入って改めて町史編さん室が設置され、三名の委員によって編さん業務が進行されました。しかし休日を利用した週一・二日勤務という変則体制のため、継続的な業務の遂行が行えず、加えてその後の人的要素の変動もあって、不測の事態に追い込まれたこともありました。そのため再度委員の整備充足を実施し、新委員二名、計三名で恒久的な定着化をはかったのは、昭和五十七年になってからのことでした。

このような曲折を経ながら編さん業務は、町内所在の文書類の調査から始めました。川辺十一地区の区有文書約四百点を端緒に、矢島家文書（中川辺）・西村家文書（中川辺）・木下家文書（下川辺）の八千点を中心に、寺社文書六百点、町内外の個人所蔵文書三百点、それに県内外の図書館・資料館・大学関係史料二千点と、しだいに調査範囲を広げ、その数量も一万点を越える程の、ぼうだいな収集解読となったのです。しかしながら生活環境の急激な変化から、既に史料が散逸したもの、さらに価値の高いと考えられる所蔵史料が、閲覧の許可が得られなかったこともあって、次の機会に譲ったこと、あるいは自制を余儀なくされたこともありました。

調査のため、再三にわたって東京・大阪・名古屋・岐阜など、県内外を東奔西走しながら、これらの史料によって、新事実が発掘できたことは大きな収穫でした。米田城戦記や川辺町の領主であった幕領・尾張藩領・旗本領関係の支配体制、あるいは旗本大嶋氏の全ぼうについても解明できました。一方では、能古山・権現山論が次々に明るみに出、

また一般庶民の生活に結びつく、風俗・伝承の諸史料も数多く発見できたことは、きわめて肝要な事柄でした。

この調査と並行して、川辺町の文化財石造物編（昭和五十四年）・文化財史跡名勝天然記念物編（昭和五十五年）を相次いで発刊し、さらに調査史料解明後は、川辺町史料編上巻（昭和五十九年）・川辺町史料編下巻（昭和六十三年）を発刊しました。また、編さん過程で収集した生業用具・生活器具を整備して、旧下麻生小学校に“川辺町民俗資料館”（平成六年）としてオープンし、町民の閲覧の場としたのでした。

この度発刊の川辺町史通史編は、前記調査史料に基づいて川辺町の原始から現代までの歴史と、民俗関係を集大成したものです。川辺の歴史といえば、昭和十七年に当時の国民学校教師により、小学生向きの“川辺読本”が唯一のものでした。しかしこの読本は旧川辺町を対象としたものであって、郷土史書に乏しいのがその実態でした。いずれにしても、川辺町に数多く伝えられた事跡を正しく理解し、後世に伝えることは、私どもの責務であると考えられます。数々の文化の積み重ねがあつてこそ、躍進する川辺町の姿が展望されるのです。町民をはじめ内外有識者の、ご一覽を賜れば幸いと存じます。

本書刊行にあたり、町外並びに各地区町民の方々から、数多くの史料の提供がありましたことを、改めて感謝いたします。また史料収集にさいして、徳川林政史研究所・神奈川大学・箕面市図書館・豊中市図書館・蓬左文庫・岐阜大学・岐阜県立図書館・岐阜県歴史資料館のご指導、ご助言あるいは史料のご紹介を賜りましたので、厚くお礼申し上げます。さらに本書印刷にあたり、献身的な奉仕をされました共同印刷株式会社に対しても、深く謝意を表します。

平成八年二月一日

町史編さん室 木下尚年

町史編さん協力員

文化財保護審議会委員

田原耕作 井内日進 佐伯泉 伊藤克文

文化財保護委員会委員

岡本穰（委員長） 木下瀨 奥村正 井戸金之丞 紅谷茂 加藤栄樹 篠田日一 長谷川鋼三
白村正市 山田高尾 村上正 小森静樹 高井嘉治 安田幸夫 赤坂孝平 佐伯馨三

郷土史研究クラブ員

井戸喜男（文化財保護審議会委員）

若井令一（文化財保護委員会委員）

高橋美智夫 井戸義勝 若井国光 馬場巖 矢田元雄 加藤実夫 横田穰 加藤孝義 垣下幸雄
吉田定 村瀬雅一 渡辺隆弘 井戸喜一 加藤護 加藤時夫 安田昭 矢嶋弓男

町史編さん室（執筆者）

木下尚年（文化財保護審議会会長）

垣下博子

参考文献

- 岐阜県史 美濃加茂市史 富加町史 八百津町史 七宗町史 白川町誌 東白川村誌
可児町史 兼山町史 御嵩町史 金山町誌 福岡町史 糸貫町史
濃飛風土記 濃飛人物史 飛驒南街道 岐阜県の偉人 岐阜県風土記 岐阜県交通史
美濃考古会報 郷土研究岐阜 海澈録 十六銀行百年史 飛驒川 流域の自然と文化
幕藩体制の解体 山と水に生きる 地理地名事典 先土器時代の知識 縄文時代の知識
弥生時代の知識 古墳時代の知識
下麻生筏綱場 錦織綱場 下麻生写真集 天理教東濃大教会史 民話とわらべうた
民謡調査書 旅と酒 文集奥の細道